

庭園景から受ける癒しのイメージに関する調査研究

谷口小百合*・張 格瑋**・相田 明***・鈴木 誠***

(平成 15 年 5 月 29 日受付/平成 15 年 9 月 24 日受理)

要約：どのような庭園景に癒しを感じるかを明らかにする目的で、国内外の庭園景の写真 40 枚を刺激として、SD 法によるイメージ調査を実施した。被験者は東京農業大学地域環境科学部造園科学科の学生 30 人である。評価結果をイメージプロフィール、t 検定、因子分析により考察、またヒアリング調査を同じ被験者 20 人に実施して評価要因も考察した。その結果、被験者が庭園景から受ける癒しを規定していた基本因子は情趣性、自然性、清澄性であった。そして庭園景に対する「好き」と「癒される」という感情はほぼ同じであった。癒しを感じる庭園景は特に苔や水のある、湿った印象の強い坪庭、露地、日本庭園など日本独特の景観であった。またヒアリング調査の結果から、特定景観に癒しを感じる理由として原風景が強く影響しているものと考察された。

キーワード：癒し、ヒーリングガーデン、セラピー、庭園景、SD 法

1. はじめに

近年「癒し」という言葉が流行している¹⁾。昨今では癒しという言葉が商業化され、イルカ・セラピー、アロマテラピーやガーデニングまでもが癒しという言葉で語られており、それをキーワードにした商品も多く発売されている²⁾。2003 年版の用語辞典・事典類で、その定義や解説をするものは少ないが、「病氣や傷をなおす。餓えや心の悩みなどを解消する。」(『広辞苑』第 5 版) ことを表す「癒す」という動詞の名詞的使用法であり、特に「心の悩みなどを解消すること」を意味する理解が一般的であろう。

造園に関連しても、「ヒーリングランドスケープ」(healing landscape) や「ヒーリングガーデン」(healing garden)、「癒しの庭」などの言葉をよく耳にするようになった³⁾。日本の造園界で「癒し」という言葉が目立ったのは“The Meaning of Gardens”(1990)の翻訳書『庭の意味論』(1996)の中で“Healing”という章に対応した訳語として「癒し」の章が立てられたのが早い事例である⁴⁾。その後、この「癒し」という用語の造園界での普及は、流行語現象に同じで、これら一連の事柄は人々が植物を育てる事や、その緑、またはそれらが構成する景観に癒しを感じていることの一つの社会的証左といえよう。

これまでの研究では、自然景観や住宅庭園の景観を対象として、日本人は自然的な景観や親しみやすい景観を好み、水があるとより好ましく感じるという結果が出ている⁵⁾。

しかし、癒しの庭、癒される景観というのはどれもが感

覚的な表現であり、これまで実証的な研究として庭園景観と癒しとの関係を明らかにしたものはなく、科学的裏づけを持った癒しの空間、景観づくりへの基礎的データの構築がまたれている。

以上の背景から、本研究では、人工的に構成された緑の空間、即ち庭園の景観(庭園景)に対して我々はどうのように感じ、どのような庭園景に癒しを感じるかを調査し、そのイメージ構造の一端を明らかにすることを目的とした。

2. 調査の方法と内容

調査の方法と内容は以下の通りである。なお、本調査研究の手続きを図 1 に示した。

(1) 予備調査

この種の調査研究では、調査用に提示する「景」の提示サンプルの構成が重要である。そこで、本調査(写真刺激を用いた SD 法による調査)で用いる庭園景のサンプル決定と形容詞対を作成するために、被験者に写真を提示し、それらを「癒される写真」、「癒されない写真」、「どちらともいえない写真」に分類してもらった。また癒される写真、癒されない写真に対するイメージや感想を箇条書きにもらい、形容語句を抜き出し若干の改良を加えて、意味が反対になるような形容詞対を作成した。

a) 予備調査サンプルの選出

調査サンプルは調査者らが下記の過程を経て選定した。

- ① 現地で撮影した写真や和書、洋書、雑誌の庭園景写真をおよそ 1,000 枚収集。

* ペイサージュ・ヌーボー

** 東京農業大学大学院農学研究科造園学専攻

*** 東京農業大学地域環境科学部造園科学科

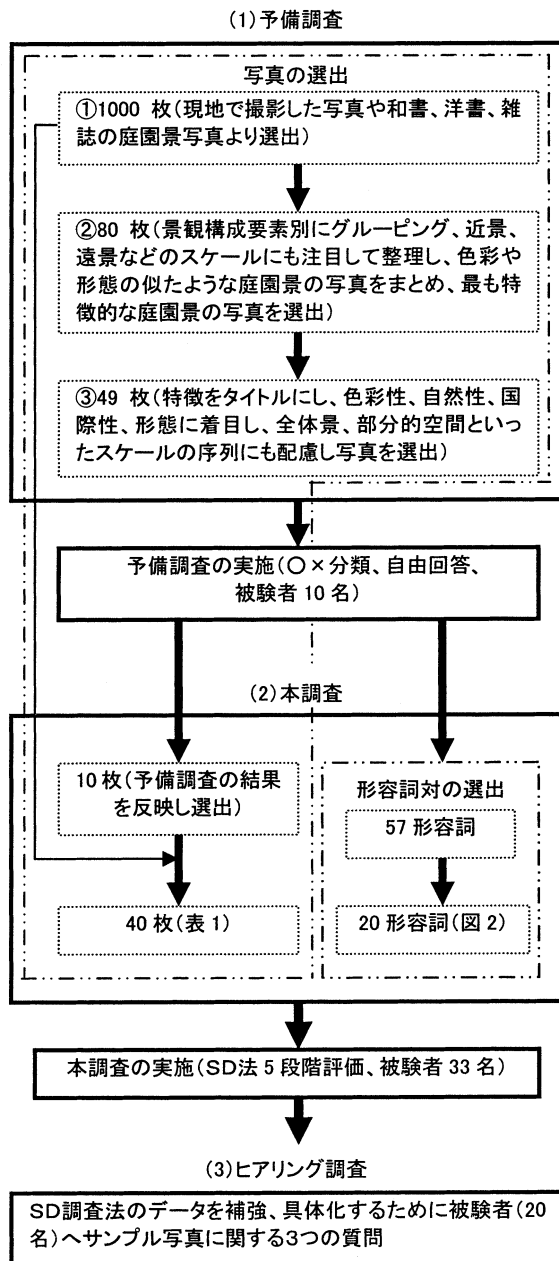


図 1 本調査研究の手続き

- ② その中から木・水・石などの景観構成要素別にグルーピング。さらにその中で近景、遠景などのスケールにも注目して整理し、色彩や形態の似たような庭園景の写真をまとめ、最も特徴的な庭園景の写真として 80 枚を選定。
- ③ 80 枚それぞれの庭園景の写真について第一印象や特徴を書き出し、その写真にもっともふさわしいと思われるタイトルをつけ、写真の特徴を明確に把握。最終的にそれぞれ色彩性、自然性、国際性、形態に着目し、全体景、部分的空間といったスケールの序列にも配慮した結果、計 49 枚の庭園景の写真を選出。

b) 予備調査対象者の構成

東京農業大学地域環境科学部造園科学科に所属する 20 代の学生、男子 5 人、女子 5 人、計 10 名。

	強く 思う	思う	ふつ つ	思う	強く 思う
1 澄んだ					濁った
2 直線的な					曲線的な
3 複雑な					単調な
4 ざわついた					ひっそりとした
5 静的な					動的な
6 濃い					薄い
7 自然な					人工的な
8 しめった					かわいた
9 緑の多い					緑の少ない
10 きらいな					すきな
11 やわらかい					かたい
12 趣のある					殺風景な
13 開放的な					閉鎖的な
14 うつとしい					すがすがしい
15 活気のある					活気のない
16 緊張した					やすらいだ
17 派手な					地味な
18 落ち着きのある					落ち着かない
19 質素な					華やかな
20 いやされる					いやされない

図 2 調査に使用したイメージ調査票 (SD 調査票)

c) 予備調査の実施

調査サンプルを A3 の用紙に写真を 9 枚ずつ並べ、カラーコピーしたものを用いた。一人あたりの調査時間は特に制限せず、被験者には自由な順番で庭園景のサンプルを提示し、癒されるもの(○)、癒されないもの(×)、判断できないもの(無記入)に分類してもらい、それぞれについてイメージや感想、理由など自由に書き記してもらった。

d) 形容詞対の作成

先の調査回答から形容語句を 57 抜き出す事が出来た。この形容語句を似たような意味を持つもの同士をまとめ、『反意語辞典』や『類語辞典』⁶⁾を参考にしながら、まとめたものの中からそれらを代表し、適当と思われる形容語句を選び出した。また、その語群から対になるものをまとめ、2 名の意見を参考にしつつ 5 回の改訂を加えた上で、意味が反対になるような 20 形容詞対を作成した(図 2 参照)。

(2) 本調査

この種の研究にはもっとも有効であると判断した既往のイメージ調査手法である Semantic Differential Method (SD 法=意味微分法)に準拠したものを採用した。

本研究では、被験者を 33 名とし、40 枚のサンプルそれぞれについて 20 の形容詞対ごとに 5 段階で評価を求めた。調査票についても肯定的な意味形容詞対が左右のどちらかに偏らないような操作や、親近関係に感じるような形容詞対を続けて配置しないなどにも配慮して構成した(図 2)。

a) 調査サンプルの構成

予備調査において、大まかにではあるが日本庭園や、水

表 1 本調査に用いた写真サンプルの選定の視点と構成

写真1	曲線的な流れと芝生の緑が印象的な園地景(子供のいる風景)
写真2	曲線的な流れと芝生の緑が印象的な園地景(子供のいない風景)
写真3	緑の少ない園路景
写真4	緑に囲まれた園路景
写真5	日本独特の庭園景(奥行きのある露地)
写真6	日本独特の庭園景(奥行きのない露地)
写真7	赤色の直線的なデザインが印象的な西洋庭園景
写真8	赤色の曲線的なデザインが印象的な西洋庭園景
写真9	日本独特の庭園景(中央に竹のある坪庭)
写真10	日本独特の庭園景(中央に岩のある坪庭)
写真11	日本独特の庭園景(奥に小さな滝のある日本庭園)
写真12	日本独特の庭園景(奥に小さな石橋のある日本庭園)
写真13	直線的にデザインされた芝生のある園地景
写真14	曲線的にデザインされた芝生のある園地景
写真15	白色の目立つ庭園景(直線的な建造物)
写真16	白色の目立つ庭園景(整形的な花壇)
写真17	白色の目立つ庭園景(柔らかい印象の花壇)
写真18	雑木の庭の景(直線的)
写真19	雑木の庭の景(曲線的)
写真20	日本独特の庭園景(苔庭)
写真21	中国的な庭園景(岩を中心とした庭園)
写真22	日本独特の庭園景(直線的な建造物の目立つ景)
写真23	日本独特の庭園景(現代風な日本庭園)
写真24	日本独特の庭園景(岩組み)
写真25	日本独特の庭園景(枯山水)
写真26	日本独特の庭園景(直線的に流れ落ちる滝)
写真27	日本独特の庭園景(曲線的に流れ落ちる滝)
写真28	子供のいる園地景(水辺)
写真29	子供のいる園地景(広場)
写真30	水景(直線的な水路と噴水)
写真31	水景(直線的・造形的な滝)
写真32	庭園の部分景(淡い桃色花)
写真33	庭園の部分景(白色花)
写真34	整形的な花壇の景(コントラストのある色使い)
写真35	鉢植えの景(寒色系の花)
写真36	鉢植えの景(暖色系の花)
写真37	日本独特の庭園景(黄色の花のある日本庭園:近景)
写真38	日本独特の庭園景(黄色の花のある日本庭園:遠景)
写真39	日本独特の庭園景(芝庭)
写真40	人工的置物のある自然風庭園景

のある景観に癒される傾向が強いこと、極端に直線や曲線が強調され人工的な印象の強い景観や、赤や黄色が強調された景観には刺激的と感じ、癒されない傾向が考察された。また、この時点では判断のつかない点として子供のいる景観は癒しに関係しているのか、近景や遠景といった距離によって癒しのイメージは変わるのか、花が強調された景観に癒されると感じるかということがあげられた。

そこで、調査サンプルは癒される景観と、癒されない景観との相異を追求し、予備調査で使用した49景の中から予備調査の実施結果を反映させた結果、まず10景を採用した。

次に調査サンプルは癒しのイメージ構造の一端を明らかにするために、色彩性、自然性、国際性、形態に着目し、癒される庭園景が明確になるような構成とした。またこれらは、全体景、部分的空間景、施設部分景といったスケールの序列にも配慮し構成した(図3)。具体的には表1にあるような写真サンプル選定の視点と構成であり、水の有無、日本・中国・西洋庭園、直線と曲線、暖色と寒色、子供の有無、近景や遠景、花の有無などといった相異やそれらの組み合わせによるサンプル写真を選定した。その結果、新たに2.(1)a)①の予備調査サンプル1,000枚の中から30景を加え、計40枚とした。

b) 調査対象者の構成

調査対象者は、庭園に対して特別に知識や関心のある東京農業大学地域環境科学部造園科学科に所属する20代の学生、男子17名、女子16名、計33名である。なお、調査対象とする被験者の属性については、関連分野の数多くの研究から⁵⁾、被験者数20~50名ぐらいが普通であること、素人にも内容が理解できるような簡単な実験の場合には、専門家・非専門家、あるいは男女や年齢差などでグループ分けしても、有為な差が現れないのが普通であることなどが知られているので、本研究においてもこれを参考とした⁷⁾。

c) 調査の期間

2002年8月から11月。一人あたりの調査時間は特に指定しなかったが、最長で45分程度、最短で25分程度、平均して30分程度で回答してもらった。

d) 調査の実施

調査は40枚の庭園景の写真に似たような景観や部分景が続かないように配慮し、A3の用紙に写真を9枚ずつ並べ、カラーコピーしたものを使用した。写真には1から40番までの番号を付して納め、これを個々の被験者に調査主旨を説明してから提示し、それぞれの調査サンプルについて20の形容詞対ごとに、5段階の尺度で評価を求めた(図2)。

(3) ヒアリング調査

SD調査結果の考察を踏まえ、さらに本研究内容を補強、考察するために被験者の一部である、男子10人、女子10人、計20人に、本調査で使用したサンプルを自由な順番で見てもらい、以下の質問をした。

- ① 質問1: この40枚の写真の中で、特に癒されると感じたものはどれですか。(複数可) またその理由は?
- ② 質問2: この40枚の写真の中で、特に癒されないと感じたものはどれですか。(複数可) またその理由は?
- ③ 質問3: この写真の中に特に癒されるという写真がなければ、どのような景観にあなたは癒されますか?(複数可) またその理由は?

3. 調査の結果と考察

(1) 相関行列とイメージプロフィールの分析と考察

本調査で得た、男子15人(無効データ2を除いた)、女子15人(無効データ1を除いた)、計30人の、40枚の庭園景のサンプルに対する、各形容詞対(合計20)の評定平均値(総計800)を算出した(表2)。その評定平均値を基に各形容詞対毎の相関係数も求めた(表3)。

その結果「いやされる-いやされない」と高い相関関係(相関係数 $r \geq 0.50$)にある形容詞対は、「すきな-きらいな」($r=0.96$)、「落ち着きのある-落ち着きのない」($r=0.88$)、「趣のある-殺風景な」($r=0.84$)、「しめった-かわいた」($r=0.72$)、「ひっそりとした-ざわついた」($r=0.69$)、「地味な-派手な」($r=0.67$)、「すがすがしい-うっとうしい」($r=0.66$)、「自然な-人工的な」($r=0.65$)、「澄んだ-濁った」「静的な-動的な」($r=0.64$)、「やすらいだ-緊張した」($r=$

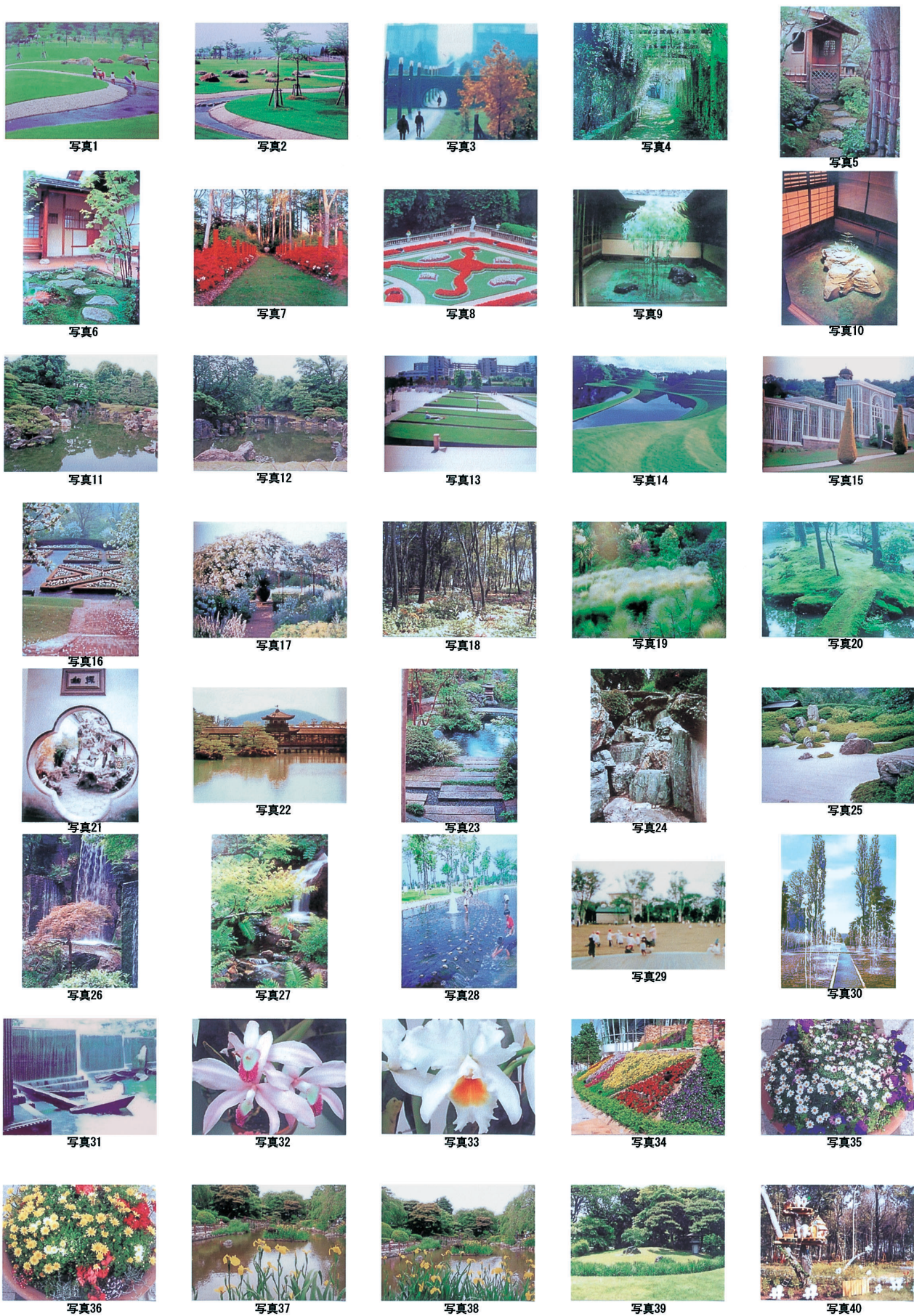


図3 SD調査に用いた庭園景のサンプル写真一覧

0.62), 「質素な-華やかな」($r=0.58$), 「やわらかい-かたい」($r=0.50$) などであった。つまり、庭園景に対していやされるか、いやされないかという感情には、上記の感情と強い関係があるとわかった。

次に、「いやされる-いやされない」と相関関係がもっとも強かった「すきな-きらいな」における調査サンプル写真のイメージプロフィールを作成した(図4)。

その結果、両者のプロフィール波形はほぼ同一であり、数値にも大きな違いは見られなかった。そこで統計的に調査するためにF検定を行った後、t検定を行った。どちらもエクセルの分析ツールを使用、危険率 $\alpha=0.05$ とした。F検定の結果、観測された分散比 $=1.23$ に対し、F境界値両側 $=1.70$ であり、観測された分散比 $<F$ 境界値両側となり、仮説を棄却することができなかった。つまり、写真ごとにおける「いやされる-いやされない」、「すき-きらい」における数値のばらつきに差はないとわかった。F検定の結果をふまえて、t検定(等分散を仮定した2標本による検定)を行った。t検定の結果、 $t=-1.24$, t境界値両側 $=1.99$ であり、 $t < t$ 境界値両側となり、仮説は棄却されなかった。つまり、写真ごとにおける「いやされる-いやされない」、「すき-きらい」における平均値に差はないと考えられる。F検定およびt検定の結果、写真ごとにおける「いやされる-いやされない」、「すき-きらい」における評定平均値において、ばらつき、平均値のいずれについても、差がないものと判断できた。

次に、形容詞対「いやされる-いやされない」を総合評価と考え、この形容詞対における写真ごとの評定平均値が0以上のものを癒される庭園景(図4の上の部分28サンプル)、0未満のものを癒されない庭園景(図4の下の部分12サンプル)と考え、それぞれの全体平均を求め、SD法のイメージプロフィールを作成した(図5)。

このイメージプロフィールから、癒される庭園景は特に、澄んだ、湿った、すきな、趣のある、落ち着いたというイメージが影響して選択されており、癒されない庭園景は特に、人工的な、ざわついた、淡い、かたいというイメージが影響して選択されていることがわかる。

続いて、「いやされる-いやされない」における評定平均値が1.0以上(いやされると強く思うという回答)の庭園景が癒しを与えるものの代表例であると考えて、サンプルを抜き出した。[写真20(1.66), 写真9(1.40), 写真27(1.33), 写真5(1.33), 写真23(1.13), 写真6(1.13), 写真11(1.03)](図4)これらのサンプル写真はどれもが日本庭園や露地、坪庭といった日本独特の庭園景であることがわかる。

「いやされる-いやされない」における評定平均値が1.0以下である日本独特の庭園景のサンプル[写真26(0.96), 写真39(0.86), 写真10(0.83), 写真25(0.80), 写真12(0.80), 写真22(0.66), 写真37(0.53), 写真38(0.46), 写真24(-0.23)](図4)と比較してみると、花や紅葉した木々がなく、緑が多い比較的閉鎖的な庭園景であり、苔むして、木々が映るほど澄んだ水や曲線的に流れ落ちる滝があり、湿った印象の強い庭園景であることがわかる。

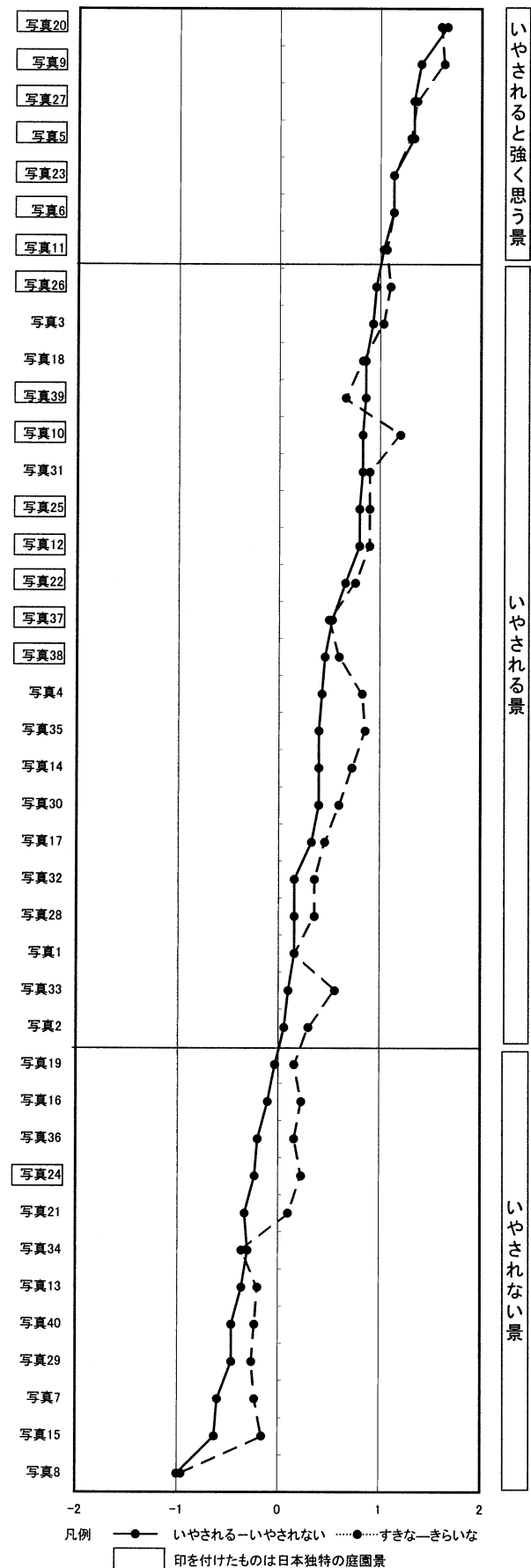


図4 「いやされる-いやされない」「すきな-きらいな」における調査サンプル写真のイメージプロフィール

表 2 SD 法における評定平均値一覧（小数点第 3 位以下は切り捨て）

	澄んだ 一濁った	曲線的 な一直 線的な	単調な 一複雑 な	ひっそり とした一 ざわつ いた	静的な 一動的 な	淡い 一濃い	自然な 一人工 的な	しめった 一かわ いた	緑の多 い一緑 の少な い	すきな 一きら いな	やわら かい一 かたい	趣のあ る一殺 風景な	開放的 な一閉 鎖的な	すがす がしい 一うっ とうい	活気 ある一 活気 ない	やすら いだ一 緊張し た	地味な 一派手 な	落ち着 きのあ る一落 ち着き のない	質素な 一華や かな	いやさ れる一 いやさ れない
写真1	0.96	1.33	1.00	0.03	-0.70	-0.13	-0.93	0.53	0.50	0.16	0.13	-0.36	1.63	0.80	0.60	0.66	0.13	0.00	0.23	0.16
写真2	0.96	1.10	0.86	0.70	0.20	-0.03	-1.13	0.36	0.10	0.30	-0.03	-0.46	1.23	0.63	-0.33	0.50	0.40	0.66	0.40	0.06
写真3	0.70	-0.46	0.20	0.26	0.66	0.43	0.10	0.83	0.80	1.03	0.76	0.80	-0.86	0.16	-0.06	0.63	-0.03	0.73	-0.40	0.93
写真4	0.16	-0.86	0.70	0.36	0.56	0.26	-0.86	0.00	0.00	0.83	-0.40	0.36	0.50	0.70	-0.03	-0.06	0.56	0.43	0.33	0.43
写真5	0.53	0.46	-1.03	1.16	1.13	-0.23	0.63	1.20	0.86	1.30	0.76	1.43	-0.70	0.20	-0.80	0.43	1.13	1.36	1.06	1.33
写真6	0.90	0.36	-0.50	0.86	1.30	-0.23	0.16	1.00	0.63	1.13	0.26	1.26	-0.53	0.56	-0.33	0.70	0.73	1.26	1.00	1.13
写真7	0.06	-1.33	0.30	-0.13	0.06	-1.56	-0.70	0.26	0.43	-0.23	-0.23	-0.10	-0.33	-0.53	-0.03	-0.43	-1.30	-0.76	-0.76	-0.60
写真8	-0.26	-0.20	-0.40	-0.50	-0.43	-1.36	-1.70	-0.33	0.03	-0.96	-0.73	-0.36	0.16	-0.83	0.60	-0.96	-1.33	-0.80	-1.23	-1.00
写真9	0.80	0.00	0.23	1.43	1.76	0.13	0.03	1.33	0.20	1.63	0.43	1.50	-1.26	0.40	-0.93	0.26	1.23	1.46	1.23	1.40
写真10	0.36	0.46	0.30	1.66	1.46	-0.20	-0.10	0.46	-0.53	1.20	-0.50	1.00	-1.33	0.20	-0.90	-0.20	1.30	1.36	1.33	0.83
写真11	1.03	1.23	-1.26	0.40	0.46	-0.46	0.93	1.20	1.50	1.06	0.46	1.36	0.53	0.36	-0.13	0.63	0.60	1.10	0.60	1.03
写真12	0.46	0.80	-1.20	0.50	0.56	-0.56	0.86	1.36	1.40	0.90	0.00	1.13	0.23	0.00	-0.36	0.16	0.86	1.16	0.73	0.80
写真13	0.63	-1.86	1.23	-0.23	0.06	-0.53	-1.73	-0.86	-0.20	-0.20	-1.13	-0.70	1.40	0.30	0.30	-0.40	0.06	-0.20	0.00	-0.36
写真14	1.26	1.30	0.66	0.76	0.26	-0.43	-0.50	0.83	0.70	0.73	0.36	-0.13	1.36	0.76	-0.53	0.36	0.16	0.50	0.26	0.40
写真15	0.43	-1.36	0.26	0.03	0.50	-0.10	-1.50	-0.86	-0.26	-0.16	-1.16	-0.13	-0.26	-0.13	-0.43	-0.86	-0.36	0.13	0.03	-0.63
写真16	0.06	-1.16	-0.43	0.06	0.43	-0.10	-0.73	0.70	0.50	0.23	-0.80	0.06	-0.13	0.13	-0.43	-0.10	0.20	0.33	0.13	-0.10
写真17	0.13	0.86	-1.26	-0.96	-0.36	0.06	0.03	0.30	0.66	0.46	0.90	0.70	-0.33	-0.46	0.60	0.43	-1.20	-0.33	-1.46	0.33
写真18	0.60	0.30	-1.10	0.06	0.30	0.03	1.46	0.86	1.50	0.83	0.93	0.40	0.23	0.23	-0.10	0.93	0.36	0.76	0.36	0.86
写真19	-0.26	0.90	-0.93	-0.56	0.13	0.80	1.26	0.90	1.36	0.16	1.20	0.30	-0.43	-0.50	-0.03	0.40	0.33	0.03	0.30	-0.03
写真20	1.36	1.03	0.06	1.63	1.60	0.23	1.66	1.86	1.76	1.60	1.36	1.46	0.00	0.80	-0.76	1.00	1.10	1.60	1.30	1.66
写真21	-0.26	0.63	-0.86	-0.13	0.10	-0.10	-1.16	-0.93	-1.53	0.10	-1.36	0.00	-1.33	-0.10	-0.26	-1.03	-0.06	0.00	0.40	-0.33
写真22	0.23	-0.50	0.10	0.96	1.26	0.20	-0.16	0.96	0.10	0.76	-0.26	1.10	0.80	0.70	-0.53	-0.10	0.76	1.10	0.63	0.66
写真23	1.03	-0.26	-1.10	0.43	0.73	-0.06	0.46	1.03	1.06	1.13	0.13	1.16	-0.23	0.60	-0.30	0.46	0.30	1.13	0.36	1.13
写真24	-0.03	0.26	-1.00	-0.43	-0.13	-0.16	0.56	-0.16	-1.23	0.23	-1.50	-0.10	-0.80	0.03	-0.23	-0.93	0.73	0.00	0.90	-0.23
写真25	0.76	0.70	-0.23	0.90	0.76	0.20	0.30	-0.53	0.43	0.90	-0.06	0.96	0.53	0.56	-0.56	0.06	0.83	1.16	0.90	0.80
写真26	1.10	-0.36	-0.73	-0.03	-0.33	0.13	0.86	1.36	0.50	1.10	-0.03	0.86	0.13	0.90	0.26	0.13	0.33	0.56	0.36	0.96
写真27	1.30	1.06	-1.03	0.20	-0.13	0.03	1.53	1.56	1.33	1.36	0.80	1.30	-0.06	1.20	0.36	0.93	0.50	0.93	0.53	1.33
写真28	1.03	0.43	0.16	-0.90	-0.93	0.23	-1.30	1.30	-0.70	0.36	0.06	-0.13	1.26	0.70	1.10	0.43	-0.30	-0.10	-0.13	0.16
写真29	-0.13	0.06	0.10	-1.26	-0.90	0.20	-0.93	-1.00	-0.73	-0.26	-0.40	-0.73	1.13	-0.06	1.06	0.26	0.50	-0.46	0.63	-0.46
写真30	1.13	-1.70	0.86	0.33	0.50	0.80	-1.10	1.03	-0.16	0.60	-0.56	0.10	0.76	0.73	0.06	-0.30	0.13	0.06	0.10	0.40
写真31	1.33	-1.36	-0.40	0.06	0.06	0.36	-1.26	1.46	-1.20	0.90	-0.90	0.30	0.06	0.96	0.33	-0.20	0.06	0.63	0.20	0.83
写真32	0.56	0.96	-1.00	-0.30	-0.20	-0.03	0.63	0.70	-0.16	0.36	0.80	0.40	-0.13	0.23	0.20	0.16	-0.93	0.10	-1.03	0.16
写真33	0.96	1.10	-0.86	-0.10	-0.10	0.30	1.00	0.93	-0.23	0.56	0.76	0.40	-0.03	0.06	0.63	-0.10	-0.83	0.00	-1.13	0.10
写真34	0.46	-0.60	-0.30	-0.93	-0.73	-1.50	-1.30	-0.10	0.33	-0.36	-0.40	0.26	0.60	-0.26	1.00	-0.26	-1.50	-0.83	-1.30	-0.30
写真35	0.63	0.76	-0.13	-0.43	0.20	-0.03	-0.16	0.03	-0.26	0.86	0.90	0.23	0.30	0.66	0.53	0.83	0.00	0.43	-0.33	0.40
写真36	0.16	0.76	-0.90	-1.03	-0.76	-1.33	-0.33	0.00	0.23	0.16	0.33	0.16	0.10	-0.30	0.93	0.26	-1.10	-0.56	-1.20	-0.20
写真37	0.83	0.26	-0.53	-0.23	0.33	-0.50	0.40	1.36	1.13	0.50	0.36	0.53	0.70	0.33	0.23	0.83	0.06	0.53	-0.13	0.53
写真38	0.80	0.20	-0.53	-0.16	0.23	-0.56	0.40	1.26	0.83	0.60	0.53	0.66	0.50	0.20	0.16	0.80	-0.24	0.50	-0.06	0.46
写真39	1.03	1.13	0.10	0.23	0.16	-0.33	0.93	0.23	1.43	0.66	0.83	0.36	0.76	0.63	-0.13	0.96	0.46	0.83	0.16	0.86
写真40	0.23	0.80	-1.00	-1.46	-1.03	0.13	-0.50	0.23	0.60	-0.23	0.60	0.20	0.50	-0.83	0.96	0.33	-0.60	-1.20	-0.43	-0.46

表 3 形容詞対間における相関係数（小数点第 3 位以下は切り捨て）

	澄んだ 一濁った	曲線的 な一直 線的な	単調な 一複雑 な	ひっそ りとし た一ざ わつた	静的な 一動的 な	自然な 一人工 的な	しめつ た一か わいた	緑の多 い一緑 の少な い	すきな 一きら いな	やわら かい一 かたい	趣のあ る一殺 風景な	開放的 な一閉 鎖的な	すがす がしい 一うっ とうい	活気 ある一 活気 ない	やすら いだ一 緊張し た	地味な 一派手 な	落ち着 きのあ る一落 ち着き のない	質素な 一華や かな	いやさ れる一 いやさ れない
澄んだ一濁った	1.00																		
曲線的な一直線的な	0.14	1.00																	
単調な一複雑な	0.19	-0.36	1.00																
ひっそりとした一ざわつた	0.42	0.04	0.25	1.00															
静的な一動的な	0.21	-0.09	0.13	0.90	1.00														
自然な一人工的な	0.26	0.53	-0.57	0.29	0.31	1.00													
しめった一かわいた	0.61	0.20	-0.23	0.40	0.34	0.56	1.00												
緑の多い一緑の少ない	0.30	0.32	-0.24	0.23	0.24	0.64	0.50	1.00											
好きな一きらいな	0.60	0.24	-0.12	0.72	0.69	0.63	0.67	0.36	1.00										
やわらかい一かたい	0.33	0.60	-0.29	0.08	0.10	0.69	0.54	0.71	0.45	1.00									
趣のある一殺風景な	0.34	0.24	-0.43	0.59	0.65	0.68	0.63	0.51	0.82	0.47	1.00								
開放的な一閉鎖的な	0.31	0.03	0.43	-0.25	-0.43	-0.28	-0.06	0.11	-0.29	0.01	-0.46	1.00							
すがすがしい一うっとうしい	0.77	0.04	0.32	0.52	0.33	0.19	0.45	0.06	0.66	0.09	0.28	0.28	1.00						
活気のある一活気のない	-0.11	0.01	-0.10	-0.87	-0.89	-0.29	-0.22	-0.20	-0.56	0.02	-0.49	0.43	-0.26	1.00					
やすらいだ一緊張した	0.53	0.52	-0.11	0.14	0.11	0.57	0.56	0.69	0.53	0.84	0.41	0.25	0.40	0.02	1.00				
地味な一派手な	0.27	0.14	0.12	0.72	0.68	0.38	0.30	0.17	0.69	0.04	0.47	-0.12	0.55	-0.68	0.27	1.00			
落ち着きのある一落ち着きのな	0.50	0.19	-0.02	0.86	0.83	0.53	0.54	0.36	0.88	0.27	0.74	-0.24	0.64	-0.76	0.42	0.82	1.00		
質素な一華やかな	0.23	0.08	0.13	0.70	0.65	0.29	0.24	0.09	0.60	-0.07	0.41	-0.15	0.50	-0.69	0.16	0.96	0.75	1.00	
いやされる一いやされない	0.64	0.25	-0.15	0.69	0.64	0.65	0.72	0.49	0.96	0.50	0.84	-0.20	0.66	-0.50	0.62	0.67	0.88	0.58	1.00

そこで、「いやされる-いやされない」における評定平均値が1.0以上である庭園景の平均と、1.0以下である日本独特の庭園景の平均によるイメージプロフィールを作成し比較した(図6)。

「しめった-かわいた」、「趣のある-殺風景な」、「開放的な-閉鎖的な」において、数値に0.5以上の差がみられ、日本独特の庭園景の中でも、特に湿った、趣のある、閉鎖的な庭園景に癒しを感じていることがわかる。

つまり、水と苔から湿った、趣のある印象を受けており、癒される庭園景の中でも水や苔が大きく影響していると考えられた。

(2) 類似サンプル写真の比較分析と考察

以上全体的傾向の考察をしてきたが、癒しを感じる庭園景について個別の写真からその特徴を考察するため、サンプル写真の中の類似性が高いと思われる5組の庭園景を比較分析することとした。

a) 写真9と写真10(二つの坪庭)

木々の目立つ比較的開放的な坪庭である写真9と閉鎖的な印象が強い坪庭である写真10、それぞれの形容詞対ごとの評定平均値とイメージプロフィールを作成して参考にしつつ比較考察した⁸⁾。

「いやされる-いやされない」における評定平均値が写真9は1.4であるのに対し、写真10は0.83であり、写真9の方がより癒される傾向が強い(表2参照)。

2枚の庭園景サンプルの共通点と言えば、ともに、坪庭である点と暗い空間に光が差し込んでおり、幻想的な印象を受ける点であり、共に「閉鎖的な」と強く感じている庭園景である。写真9に比べて、写真10の方が「直線的な」、「かわいた」、「緑の少ない」「かたい」「緊張した」傾向が強い。写真9は中心にタケ、周りに苔と黒くしめった岩があり、写真10は中心にどっしりと乾いた印象を与える黄色がかかった岩、その上に丈の低い灌木、周りに苔、背景には障子があり、緑が多い、少ないという印象は、共に中心に目立つ、タケと岩によるものであると考えられる。また写真10が直線的でかたいという印象が強いのは、この岩と背景の障子が影響し、写真9の方が湿った印象が強いのは、色の濃い苔が影響していると思われる。つまり光の差し込む幻想的な空間であっても、岩はかたく、緊張した印象をあたえる傾向が強く、癒される庭園景としてのイメージは低くなると考えられる。また、色の濃い苔により湿った印象が強くなっており、癒される庭園景において、苔は重要な役割を果たしていると考えられる。

b) 写真11と写真12(滝のある風景と橋のある風)

「いやされる-いやされない」において、写真11は1.03であるのに対し、写真12は0.8であり、写真11の方がより癒される傾向が強い。また、写真12の方が「濁った」、「かたい」、「閉鎖的な」、「うっとしい」、「緊張した」印象が強い。濁った印象を与えている一番の原因は水の透明度であろう。写真11は水面に周囲の木々が映っているのに比べ、写真12は全体的に暗く、はっきりとしていない。そして岩の色調も全体的な暗さを印象付けている。

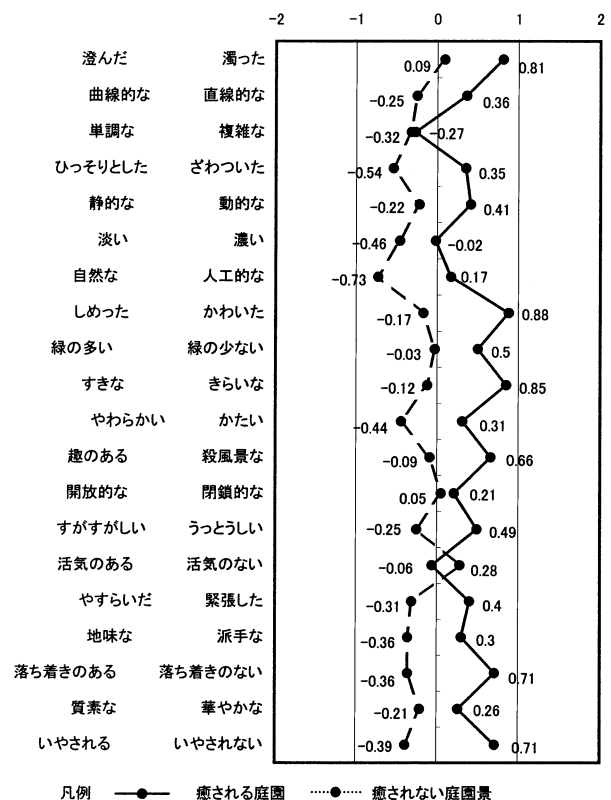


図5 癒される庭園景の平均と癒されない庭園景の平均におけるイメージプロフィール

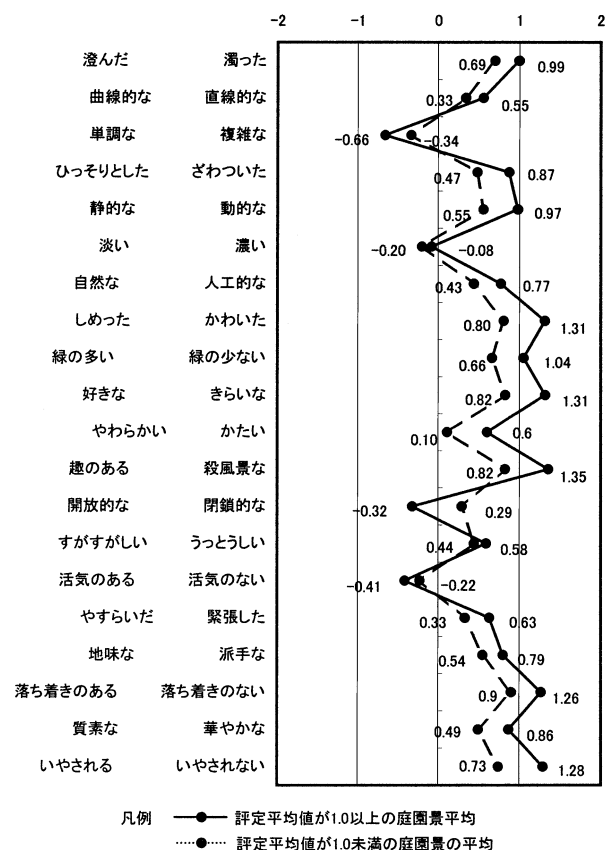


図6 評定平均値が1.0以上の庭園景の平均と評定平均値が1.0未満である日本独特の庭園景の平均におけるイメージプロフィール

表 4 因子負荷量表 (バリマックス回転後)

No.	評定尺度(形容詞対)		因子名	因子No. 1	因子No. 2	因子No. 3	
4	ひっそりとした	—	ざわついた	I	0.916	0.070	0.137
5	静的な	—	動的な		0.915	0.065	-0.098
15	活気のある	—	活気のない		-0.892	0.040	0.174
18	落ち着きのある	—	落ち着きのない	情趣性	0.887	0.352	0.154
17	地味な	—	派手な		0.849	0.092	0.179
19	質素な	—	華やかな		0.843	-0.018	0.140
10	すきな	—	きらいな		0.763	0.539	0.175
20	いやされる	—	いやされない		0.709	0.618	0.229
12	趣のある	—	殺風景な		0.628	0.620	-0.212
11	やわらかい	—	かたい	II	-0.037	0.901	0.056
16	やすいだ	—	緊張した		0.069	0.816	0.395
7	自然な	—	人工的な	自然性	0.321	0.792	-0.192
9	緑の多い	—	緑の少ない		0.125	0.726	0.037
8	しめった	—	かわいた		0.350	0.649	0.215
2	曲線的な	—	直線的な		-0.047	0.601	-0.031
13	すがすがしい	—	うっとうしい	III	0.498	0.158	0.724
14	澄んだ	—	濁った		0.290	0.397	0.702
1	開放的な	—	閉鎖的な	清澄性	-0.373	-0.045	0.651
3	単調な	—	複雑な		0.108	-0.512	0.564
固有値					6.902	5.061	2.265
因子寄与率(%)					36.33%	26.64%	11.92%
因子寄与率累積(%)					36.33%	62.96%	74.88%

かたい、閉鎖的な、緊張した印象を与えているのは、手前にある大きな岩と写真 11 に比べて大きく見える岩による石組みにあると考えられる。やはり、a) と同様に岩はかたく、緊張した印象をあたえる傾向が強く、癒される庭園景には好まれないと考察された。

c) 写真 26 と写真 27 (人工的な滝のある風景と自然的な滝のある風景)

「いやされる-いやされない」において、写真 26 は 0.96 であるのに対し、写真 27 は 1.33 であり、写真 27 の方がより癒される傾向が強い(表 2)。

また、「曲線的な-直線的な」において写真 26 は -0.36 であるのに対し、写真 27 は 1.06 であり、数値に大きな差が見られた。これは写真 26 では直線的な、と感じており、写真 27 は曲線的な、と感じていることを示している。

写真 26 は角張った岩から垂直に水が流れ落ちる滝の印象が強い。写真 27 に比べて人工的な、かたい、緊張した傾向が強く出ているのはこの滝の形状が大きな原因だと考えられる。また、緑の少ないという傾向が強いのは木々の量も原因の 1 つであると考えられるが、写真 26 のほぼ中央にある紅葉した木の印象が強く、緑というよりも赤みがかった印象を与えるので、それが原因の 1 つであるとも考えられる。

上述した比較考察 a), b) 同様、角張ったデザインであることも 1 つの原因だが、岩はかたく、緊張した印象をあたえる傾向が強く、癒される庭園景には好まれないと考えられる。高い位置から垂直に流れ落ちる滝も、人工的な印象を与えているようで、癒される景観としては評価が低くなる傾向があることがわかった。また、緑の葉が茂っていた方が自然的な印象が強くなり、癒される景観には好まれると考えられる。総じて、より自然的な庭園景に癒されているともいえる。

d) 写真 1 と写真 2 (子供のいる風景と子供のいない風景)

「いやされる-いやされない」において、写真 1 は 0.16 であるのに対し、写真 2 は 0.06 であり数値に大きな差は見られなかったが、子供はざわついた、動的な、活気のある、落ち着かない印象を与えていた。

評定平均値の傾向だけで判断すると、子供がいるかどうかは癒されるか癒されないかの判断には大きく影響していないと考えられるが、本研究において上記の感情は、癒されないと感じる庭園景において選択されていることが多いことを考えると、断定はできない。

また、後のヒアリング調査からも子供のいる風景はうるさそうで癒されない、子供が嫌いだから癒されないという回答も見られるので、子供のいる風景に癒されるとは一般化しては言いがたく、どちらかという癒されない傾向が強いと考えるほうが妥当であろう。

e) 写真 35 と写真 36 (寒色系の花のポットと暖色系の花のポット)

写真 35 は白と紫を基調に、寒色系の花を組み合わせたポットであり、写真 36 は赤と黄色を基調とした、暖色系の花を組み合わせたポットである。

「いやされる-いやされない」において、写真 35 は 0.4 であるのに対し、写真 36 は -0.2 であり、寒色系の花の組み合わせの方が癒されており、暖色系の花の組み合わせの方が癒されないということがわかった。

「曲線的な-直線的な」(写真 35=0.76, 写真 36=0.76), 「しめった-かわいた」(写真 35=0.03, 写真 36=0), 「趣のある-殺風景な」(写真 35=0.23, 写真 36=0.16), においては 0.1 以上の大きな数値の差は見られず、上記の感情は花の色によって大きく影響は受けないとわかる。

しかし、寒色系の写真 35 の方が、静的な、すがすがし

い、落ち着いた印象が強く、暖色系の写真 36 に比べて、澄んだ、やわらかい、やすらいだと感じる傾向が強い。暖色系の花には動的な、うっとうしい、派手な、落ち着いた印象を受けており、これが起因してか癒されないと感じているようであった。

癒される印象を与えるのは寒色系の花であり、暖色系の花は感情に刺激を与える傾向があり、癒される庭園景としては好まれないと考えられる。これに関しては後のヒアリング調査からも同様の結果が得られた。

(3) 因子分析と考察

SD 法によるイメージ分析手段である因子分析（バリマックス法）を実施した（表 4）。用いたデータは上記同様、男子 15 人（無効データ 2 を除いた）、女子 15 人（無効データ 1 を除いた）、計 30 人の、40 の庭園景に対する各 20 形容詞対による評定平均値（総計 800）である。

分析は（株）社会情報サービスの「エクセル統計 2002 For Windows」を用いて行った。1 回目の因子分析の結果、形容詞対「淡い-濃い」の共通性の推定値が 0.191 と他の説明変数に比べて極めて小さいので、この形容詞対は除外し、再度、因子分析を行った。その結果、固有値が 1 以上であり、因子寄与率の高い 3 因子を抽出することができ、この 3 因子による説明率は 74.88% であった（表 4 参照）。被験者の癒される庭園景に対するイメージ因子（感じ方の軸、イメージ軸）は、この 3 因子であると構造的に整理できたため、以下のように考察を進めた。

a) イメージ因子の解釈

因子の解釈にはバリマックス回転後の因子負荷量と、因子得点を用い、各因子得点が 1.0 以上の庭園景のサンプルが因子を代表する庭園景であると考えて、その因子の性質を考察した。考察はセオリー通り、因子負荷量の大きさを絶対値で判断し、マイナス数値は形容詞対を逆の意味に解釈して考察している。したがって、以下の考察の形容詞対の組み合わせはこの解釈による。

なお、以下の調査結果における解釈や考察をわかりやすくするために、先に結果を示すと、因子 1 は「情趣性」、因子 2 は「自然性」、因子 3 は「清澄性」であった。

因子 1 は、ひっそりとした-ざわついた、静的な-動的な、落ち着いた印象-落ち着いた印象のない、地味な-派手な、といった美観や調和に関する評定尺度が高い負荷量を示し、感性的評価を表す因子であることがわかる（表 4）。この因子得点が 1.0 以上のものは [写真 9 (2.03), 写真 10 (1.93), 写真 20 (1.74), 写真 5 (1.52), 写真 22 (1.22), 写真 6 (1.17), 写真 25 (1.11)] など、日本独特の庭園景であり、伝統的な趣を感じるサンプルである。これらの閑雅感、落ち着いた印象、といった感覚は「情趣性」という語に代表されよう。

因子 2 は、やわらかい-かたい、自然な-人工的な、緑の多い-緑の少ない、曲線的な-直線的な、などが高い因子負荷量を示し、空間の質、空間構造を表す因子であることがわかる。この因子得点が 1.0 以上のものは [写真 27 (1.51), 写真 20 (1.38), 写真 17 (1.31), 写真 18 (1.19), 写真 11 (1.17), 写真 39 (1.04)] など、うっそうとした木々に囲ま

れた庭園景であり、自然的な印象が強く因子 2 は「自然性」という語に代表されよう。

因子 3 は、すがすがしい-うっとうしい、澄んだ-濁った、などが高い値を示している。この因子得点が 1.0 以上のものは [写真 1 (2.31), 写真 2 (1.72), 写真 30 (1.40), 写真 31 (1.33), 写真 27 (1.33), 写真 13 (1.27), 写真 28 (1.24), 写真 14 (1.22)] など、水が特徴的にデザインされている庭園景であり、さわやかで澄んだ印象が強く、「清澄性」という軸であると解釈するのが妥当といえよう。

b) 情趣性（因子 1）と自然性（因子 2）の因子得点に基づくサンプル写真のプロット図による考察

因子 1 を横軸に因子 2 を縦軸にとった各サンプル因子得点の 2 次元プロット図を作成し、象限ごとの特徴を代表するような庭園景のサンプルを示した（図 7）。

情趣性、自然性が共に高い第 1 象限には、湿った印象の強い、日本独特の庭園景が多く、木々が茂り緑に囲まれた閉鎖的な空間であることがわかる。それらの写真は、特に癒しを感じる庭園景が多く存在している。

情趣性が高く、自然性の低い第 2 象限には岩や人工物があり、整形的な庭園景が多く存在している。情趣性と自然性が高くなると、緑は少ないもの、開放的で石が目立つ日本独特の庭園景が多く、自然性だけが高くなるほど整形的ではあるが緑や水のある庭園景である。

情趣性、自然性が共に低い第 3 象限には、緑の色がきつ、赤や黄色などの派手な色彩が豊かであり、かつ整形的な庭園景が多く存在している。それらの写真は、特に癒しを感じない庭園景が多く存在している。

情趣性が低く、自然性の高い第 4 象限には花や子供、オブジェのあるにぎやかな印象の強い庭園景が多く、第 1 象限よりには花の咲いた日本庭園や、乾いた印象の日本庭園があり、情趣性が低くなるほど和風な雰囲気は薄れ、西洋風で乾いた印象の強い庭園景が多く存在している。また、印象的な花のある風景が多い。

すなわち、日本独特の庭園景は情趣性、自然性が強い傾向にある。一方、花や印象的な岩のある庭園景は情趣性、自然性ともに比較的低く、これらの庭園景には日本独特の庭園景の中でも癒される傾向が低い、といえよう。また、木々が多く緑の濃い庭園景を自然的な空間ととらえている事がわかる。そして、日本独特の庭園景と対称的に位置しているのが、人工的で、赤い色が目立つような庭園景であり、特に癒されない庭園景のグループである。

整形的な庭園景自体は情趣性において評価は低くはないが、中でも特に癒されない庭園景のサンプルは、整形的デザインに加え、赤などの色が際立ったものであった。

c) 情趣性（因子 1）と清澄性（因子 3）の因子得点に基づくサンプル写真のプロット図による考察

因子 1 を横軸に因子 3 を縦軸にとった 2 次元プロット図を作成し、象限ごとの特徴を代表するような庭園景のサンプルを示した（図 8）。

情趣性、清澄性が共に高い第 1 象限には、動きのある水景をもつ庭園景と、特に湿った印象の強い日本独特の庭園景が多く、全体的には澄んだ印象の強い庭園景が集まって

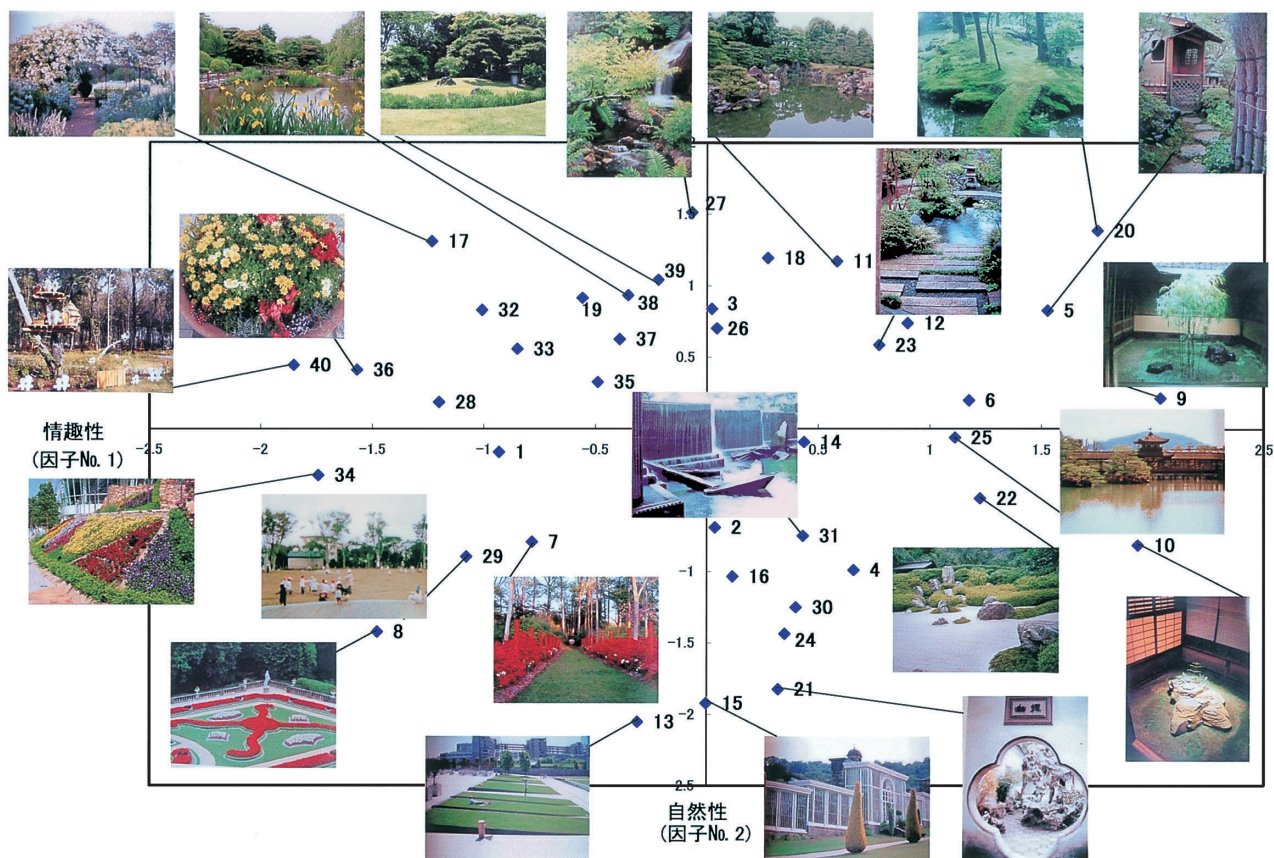


図 7 バリマックス回転後における因子得点に基づくサンプル写真のプロット (因子1×因子2)

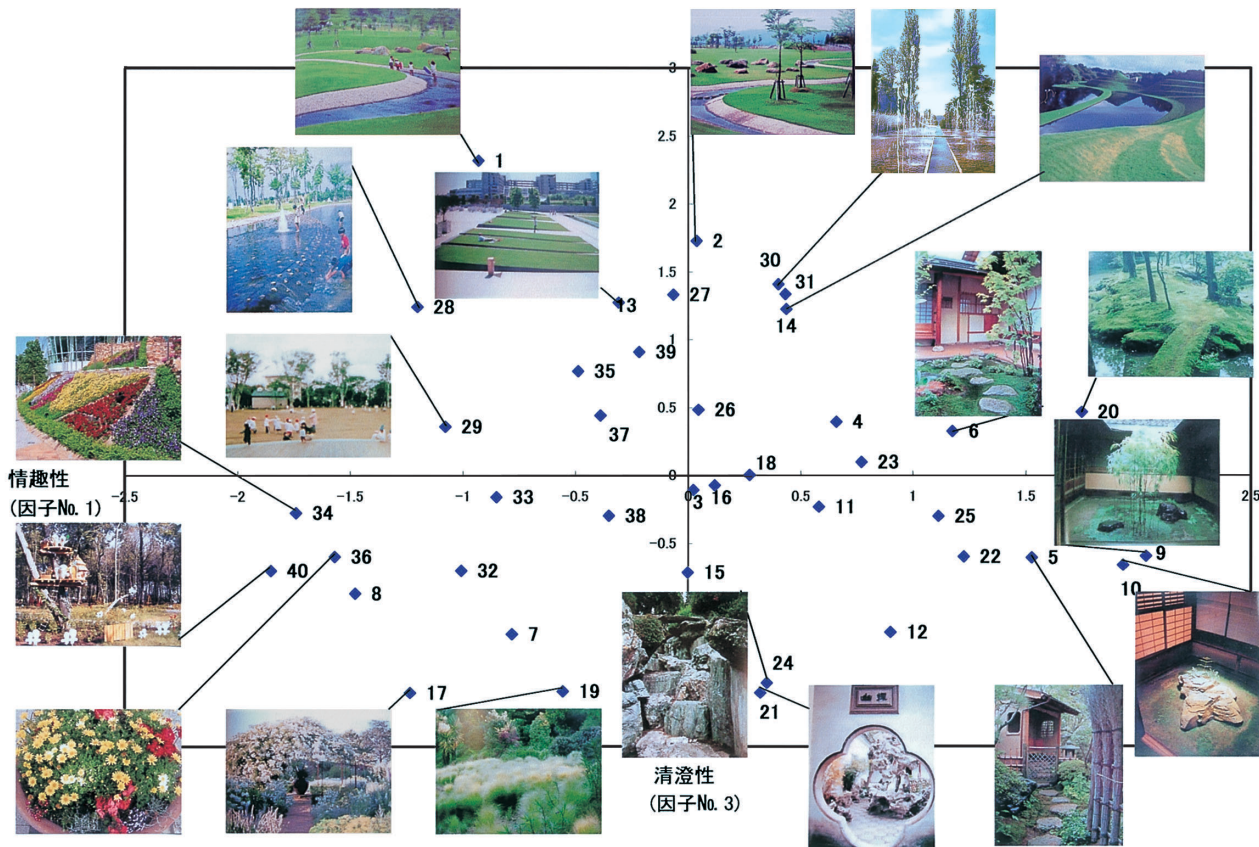


図 8 バリマックス回転後における因子得点に基づくサンプル写真のプロット (因子1×因子3)

表 5 質問 1 と質問 2 におけるヒアリング調査のまとめ（回答のあった写真のみ）

癒される理由(個人別回答)	癒されない理由(個人別回答)
写真1	・子供がうるさそう
写真2	・静かそう
写真3	・不思議の世界に誘われる感じ
写真4	・どこにでもありそうでどこにもなく、落ち着く
写真5	・茶庭の落ち着いた雰囲気
写真6	・和風で湿っぽい／茶庭の落ち着いた雰囲気
写真7	・色(赤)がきつい(5)
写真8	・色がきつい(4)／人工的で周囲となじんでない
写真9	・暗いところに差し込む光に癒される／暗闇に差し込む光に安心する／明暗のコントラスト／坪庭と竹と苔が好きだから、湿っぽいところが好き／坪庭が好き
写真10	・明暗がはっきりしていて好き／坪庭が好き
写真13	・人工的
写真15	・人工的
写真16	・暗くて古びている
写真17	・花の散っている様がいい／癒しのイメージは白
写真18	・ふわーっとやわらかい感じ／癒しのイメージは白／やわらかく囲まれているから
写真19	・よくわからない(3)
写真20	・苔が好き好きだから／静かそうで、しっとりとして薄暗い／普段あまり見られない緑一色の空間／刺激が少なく無でいられる／色がくどくなくシンプル／自然的／幻想的な感じで透き通った美しさと張り詰めた静かさがある／誰もいない緑の中／しっとりとしていて明るすぎず、暗すぎない
写真21	・岩の形がグロテスク
写真24	・石が多い
写真25	・静か
写真26	・広がりを感じる
写真27	・自然にある滝に近く、うっそうとしている木々がいい
写真28	・子供がうるさそう
写真29	・子供がうるさそう／子供がきらい。人工的で暗い
写真30	・開放的
写真34	・色がきつい
写真36	・色がきつい
写真40	・オブジェが落ち着かない／空間とオブジェがあっていない

いる。それらの写真は、特に癒しを感じる庭園景が多く存在している。

情趣性が高く、清澄性は低い第 2 象限は、日本独特の庭園景が多く存在している。清澄性が低くなるほど存在感のある石や、人工的なデザインが印象的な庭園景が多く、情趣性が高くなるにつれて、水はなくても苔やみずみずしい緑のある、湿った印象の強い庭園景が多くなっている。特に癒しを感じる庭園景が多く存在しているが、存在感のある石や人工的なデザインが印象的な庭園景は極めて清澄性が低いことがわかる。情趣性、清澄性がともに低い第 3 象限は花と、赤や黄色の目立つ整形的な庭園景が多い。情趣性が低くなるほど色彩が豊であり、本研究において特に癒しを感じない庭園景が多く存在している。

情趣性は低く、清澄性が高い第 4 象限は、花や子供の目立つにぎやかな印象の強い庭園景が多い。特に公園の一場面のような庭園景が多く存在しており、清澄性が高いほど水のある庭園景となっている。

第 1 象限と第 2 象限に癒される日本独特の庭園景が多く存在している。比較的動きのある水のある庭園景は清澄性

が高く、苔や緑の濃い庭園景は清澄性が低くなっている。つまり、癒される日本独特の庭園景において清澄性は低くても、苔やみずみずしい緑のある、湿った印象の強い庭園景は情趣性が特に高く、癒されていることがわかる。

(4) 癒される庭園景の理由についての分析考察

質問 1～質問 3 のヒアリング調査の結果から分析考察した。質問 1 と 2 の回答結果から、主に日本庭園や露地、坪庭といった日本独特の庭園景（写真 5, 6, 9, 10, 20, 23, 25, 26, 27）に癒されていることがわかった（表 5 参照）。

特にしっとりとした感じや湿った感じの庭園景に癒される傾向が強いようである。湿ったというと水のある庭園景を思い浮かべがちであるが、上記にあげた日本独特の庭園景のうち水があるものは写真 20, 23, 26, 27 の 4 枚であり、水だけから湿ったと感じているとは言いがたい。上記の 9 つサンプルのうち水のないサンプル（写真 5, 6, 9, 10, 25）に共通する事項として苔が上げられ、水よりも苔に湿ったという印象を受けていると考えられる。つまり、日本独特の庭園景の中でも、苔または水のある庭園景に癒

されると考えられる。そして、ヒアリング調査で選ばなかった日本独特な庭園景（写真 22, 24, 37, 38, 39）と比較してもわかるように、花などの派手な色がなく、緑を基調としている写真に癒しを感じていることがわかった。これは緑の多い風景に、より自然的であると感じていることが起因していると考えられる。また、癒される理由として光と影に関する回答が 4 つ出ている。つまり単に明るさや暗さが癒しに影響しているのではなく、光と影の 2 つの要素が合わさり、癒しを与えていると考えられる。

さらに、「幻想的」や「不思議な世界に誘われる感じ」、「ありそうで、どこにもない」などの回答もあり、単なる自然的な空間ではなく、別世界というべき性格が漂う空間に癒しを見出ししているようである。

次に、サンプル写真の中に癒されるものがないと答えた調査対象者 9 名の、癒される景観の回答（質問 3）をまとめると以下のようなものである。

- ① 海：砂浜と海の景色が好きだから（思い出の景色）。
- ② 田んぼと川：原風景が田んぼと川のある風景だから。懐かしさ。
- ③ 夕焼けや太陽など、光の差した田んぼ：以前見て感動した。
- ④ 和の空間。特にうぐいす張りの回廊：以前見て感動した。
- ⑤ 和風な庭（自分の憧れている庭）。
- ⑥ 明月院の庭（借景と奥行き）：以前見て感動した（写真 11 に水がなければ癒される）。
- ⑦ 日本庭園でも自分のイメージする空間（固定概念）と近いもの。：典型的な日本庭園
- ⑧ 自分の持つイメージに合っている日本庭園：典型的な日本庭園
- ⑨ 日本庭園は好きだから癒される（和風なもの）。

これらの答えから考察すると、日本独特な庭園景、もしくは夕焼けと太陽など陰と陽のコントラストのある庭園景に癒されることがわかった。自分の憧れの庭や、自分のイメージする日本庭園（典型的な日本庭園）という回答もみられ、これらは理想の庭園景とも考えられる。

そして、理由として「思い出の景色」や「以前見て感動した景色」などの回答が見られ、癒される庭園景にはいわゆる原風景が強く影響しているものと考察される。

4. ま と め

写真刺激を用いた SD 法によるイメージ調査から、癒される庭園景のイメージを探った結果、以下の知見を得た。

庭園景に対する個人のイメージでは、癒されるという感情は、好きという感情とほぼ同じであった。癒しを感じる庭園景とは一般的に、落ち着きのある、趣のある、湿った、ひっそりとした、静かな、やわらかい、自然的な、とイメージされるものであり、庭園景から受ける癒しを規定する基本因子として情趣性、自然性、清澄性の 3 つに整理（構造化）することができ、特に情趣性に対し密接に関連付けられた。

調査結果から、癒しを感じる庭園景とは、坪庭や露地など、いわゆる日本庭園といった日本独特な庭園の景観、日本庭園に固有な景色であった。その理由として調査対象者へのヒアリング結果から、いわゆる原風景との関連が強いことがうかがわれた。

庭園景の写真サンプルを詳細に考察した結果から、調査

対象者は日本独特の庭園景に対して、どのサンプルにも共通して趣があると感じており、特に湿ったイメージを与える水や苔、みずみずしい緑があり、印象的に岩がデザインされていない、自然的でどちらかというと閉鎖的な景観に癒しを強く感じていた。一方、花や紅葉した木々は派手、華やかといったイメージを与えており、日本独特の庭園景でも癒される傾向は低くなっていた。

花に関しては、赤や黄などの暖色系のものには刺激を感じているが、青や白などの寒色系の花には癒しのイメージがある可能性があり、この点の検証は別途必要である。

癒される日本独特の庭園景に見られる共通の景観構成要素は水、苔、木々の緑であった。この水、苔、木々の緑の質と量のバランスにより、癒される庭園景は選択されているようである。陽と陰、光と影のコントラストも大きく影響しており、光の効果により想像力がかきたてられるような別世界ともいえるべき性格の漂う空間に癒しを感じている傾向があった。

本調査研究から得られた、評価の高いもっとも癒される庭園景のモデルは、サンプル写真 20 に用いた京都の西芳寺（通称苔寺）の一部を写したものであった。

苔を主景とした庭園の景観は日本以外にない、日本庭園独自のもの、特徴的景観文化ともいえよう。冒頭で触れた“The Meaning of Gardens”の表紙に西芳寺の苔庭の写真が使用されたことや、ガーデニングブームが去った今、「癒しの庭」の流行があり、卓上のモスガーデン（ミニチュア苔庭）が流行している現象と、本調査結果から得られた知見とは決して無関係ではないように思える。

日本語のことわざの「転がる石には苔がつかない」が、苔を肯定的にとらえ、英語の ‘A rolling stone gathering no moss’ が苔を否定的な意味でとらえているという話は有名であり、苔には日本人特有の思いがあることはいうまでもない。さて、こうした癒される景観と苔庭との関係や、日本庭園の特質としての苔庭の意味などについての解明、は今後の課題である。

また、本研究による知見は「庭のセラピューティック効果」を保証するものではないが、「癒しの庭」づくりに活用できる科学的データが不十分である現況において、ここで得られた知見は貴重な成果と考える。しかし、調査設定の限界もあり、心身障害者や高齢者など癒しを必要とする人々を対象とした調査や、実地における「癒しの庭」の効果などの検証も今後の課題としたい。

文献ならびに注

- 1) 「癒し」という言葉は、1999 年には「'99 日本新語・流行語大賞」（自由国民社主催）のトップテンに入り、2001 年には朝日新聞社から『「癒し」を学ぶ 500 冊』（朝日新聞社/編）が出版されている。
- 2) 朝日現代用語「知恵蔵」2003、朝日新聞社、p. 901.
- 3) Web サイト（<http://www.yahoo.co.jp/>）の検索ヒット件数だけでも「癒しの庭」約 460 件、「いやしの庭」約 52 件、「ヒーリングガーデン」約 707 件となっている（2003 年 5 月末現在）。
- 4) Francis, Mark and Randolph T. Hester, Jr. ed., 1990. The Meaning of gardens : idea, place, and action, MIT Press.

- M. フランシス, R.T. ヘスター Jr. 共編; 佐々木葉二・吉田 鐵也共訳, 1996. 庭の意味論: 思想・場所そして行為, 鹿島 出版会.
- 5) 自然景観に関しては, 児島隆政・古谷勝則・油井正昭, 1995, 自然景観における好ましさの評価構造に関する研究, ランドスケープ研究, 第58巻5号, pp. 177-180. 庭園の景観に関しては: 鈴木 誠, 1990, 庭園景の評価構造に関する実験的研究, 造園雑誌, 第53巻5号, pp. 1-6.; 杉尾邦江, 1991, ニュージーランド人と日本人の住宅庭園景観に対する意識に関する比較研究, 造園雑誌, 第54巻5号, pp. 227-232.; 鈴木 誠, 1993, アメリカ人と日本人との庭園観の国際比較調査研究, 東京農業大学集報, 第38巻3号, pp. 148-165.; 大森 宏・安達めぐみ, 他, 2001, 日本の庭に対する見方の普遍性と特殊性—日英の比較から—, 計量生物学, 第21巻2号, pp. 53-72.; 羽生和紀・山下雅子, 他, 2002, 個人の庭園に対する知覚と推論, 居住国と教育の影響, 人間・環境学会誌, 第15号, Vol. 8 No. 1, pp. 1-9.
- 6) 北原保雄・東郷吉男, 1993, 反対語対照語辞典, 東京堂出版, 並びに, 渡邊静夫, 1994, 使い方のわかる類語例解辞典, 小学館.
- 7) 船越 徹, 社団法人日本建築学会編, 1987, 建築都市計画のための調査・分析方法, 井上書院, pp. 67-68.
- 8) 「いやされる—いやされない」において, 写真35と写真36のt-検定(等分散を仮定した2標本による検定)を行ったところ, $P(T \leq t)$ 片側が0.008(小数点第4位以下切り捨て)であった. つまり, 0.8%の危険率はあるものの, 写真35は写真36よりも癒される傾向が強いと判定できた.

写真サンプル図版出典

戸田芳樹, 2000. LANDSCAPE WORKS 01 グリーンピア津南中央庭園, 公害対策技術同友会, p. 25, 48, 49./ 尼崎博正, 植治の庭 小川治兵衛の世界, 淡交社, p. 22, 33./ 藤本四八写真, 中村昌生文, 1977, 京の坪庭, 駸々堂, p. 51./ 重森完途・石元泰博, 1980, 枯山水の庭, 講談社, p. 45./ 庭143号, 2002, 株式会社建築資料研究所, p. 20, 34, 42./ Dorleans, F., 2000. FASHION DESIGNERS GARDENS, Cassel and Co, p. 97./ Jean-Francois Gonthier, 2000. Contemporary Parks and Gardens in France: Vilo International, p. 16, 101, 104./ Richardson, T., 2000. THE GARDEN BOOK, Phaidion Press Limited, p. 107, 248, 245, 252, 349, 376, 395, 450./ LANDSCAPE DESIGN 24, 2001, マルモ出版, p. 65, 212.

Research on Image of Healing Received from Garden Landscape

By

Sayuri TANIGUCHI*, Kowei CHANG**, Akira AIDA*** and Makoto SUZUKI***

(Received May 29, 2003/Accepted September 24, 2003)

Summary : The purpose of this research is to clarify what type of garden landscape makes people experience healing. The method of examination was an image survey by the Semantic Differential Method, representing 40 photographs of garden landscape taken in Japan and abroad. The subjects were 30 students of the Department of Landscape Architecture Science, Faculty of Regional Environment Science, Tokyo University of Agriculture. They were asked to evaluate 40 color photographs. The evaluation result was considered by image profile, t-test and factor analysis and the assessment factors of 20 subjects who belong to 30 subjects was considered by hearing investigation. As the result, basic factors of healing that the subjects were received from the garden landscape were “mood”, “natural” and “lucid”, and the feelings of “favor” and “healing” for garden landscape were almost the same. Garden landscape that made people experience healing was the moist landscape which is a characteristic of Japanese landscape, for example, a small garden surrounded by a house and tea ceremony garden with moss and water. Moreover from the result of the hearing, it was considered that the reason to experience healing from a specific landscape healing was strongly influenced by the inner landscape.

Key Words : Healing, Healing Garden, Therapy, Garden Landscape, Semantic Differential Method

* Paysage Nouveau

** Department of Landscape Architecture Science, Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture

*** Department of Landscape Architecture Science, Faculty of Regional Environment Science, Tokyo University of Agriculture